

●事業実施状況報告(8月末)

		令和2年	令和3年
会員数(人)	男	1,355	1,318
	女	442	438
	計	1,797	1,756
就業実人員(人)※		1,439	1,416
就業率(%)		80.0	80.6
受注件数(件)	公共 民間	29 1,878	28 1,902
	派遣	36	71
請負契約金額(千円)		295,277	294,427
派遣契約金額(千円)		45,834	52,935

※「就業実人員」数は、請負契約及び派遣契約の就業会員の合算数値になります。

●センターの電話番号の登録を!(お願い)

作業日報の確認や就業紹介など、多くの用件で会員さんの自宅や携帯電話に連絡しています。センターの代表電話を登録してください。事務処理にも支障が出ています。

必ずご登録ください ▶ センター代表電話 **04-7166-6681**

●パレット柏窓口の利用について

パレット柏(柏駅東口DayOneタワー3階)では、平日の午前10時から正午まで、午後1時から午後4時までの時間帯で、作業日報、勤務実績通知書の受取り等に対応しています。ご利用された会員は「会員提出書類等管理簿」(窓口に設置)に必要な事項を記入してください。提出書類等は、専用ボックスに入れてください。センター職員が回収します。

編集後記

▼本当に暑い夏でした。地球温暖化の影響でゲリラ豪雨も多く発生し、各地で被害が出ました。
▼今年度、センター役員の交代があり、新メンバーでの各部会が始動しました。コロナ禍で活動も制限されますが、出来る事から少しずつ進めていく所存です。会員の皆様のご協力をよろしくお願い

致します。
▼「ゆずりは」121号はいかがでしたか。ご感想をお寄せ下さい。

【広報部会 M】

●配分金支払日

9月分	10月25日(月)
10月分	11月25日(木)
11月分	12月27日(月)

※毎月の配分金明細書が必要な方は、事務局窓口へお越しください。

▼ ゆずりはクイズ Part49 ▼

- Q1 地区別就業相談会は、延べ何日間実施したでしょうか?
Q2 シルバーの顔の石田さんが仕事で十分注意を払っていることは何と何でしょうか?
Q3 令和2年度の事故(傷害と賠償の合計)は何件発生したでしょうか?

●ヒント: 4面、5面、6面を見てください。

答をハガキに書いて事務局に送ってください。締め切りは11月12日(金)です。正解者の中から、抽選で素敵な品を差し上げます。ご応募をお待ちしています。(会員番号と氏名を忘れずに書いてください。)

◎ゆずりはクイズ Part48の正解

- Q1の答: 1,654人
Q2の答: お客様とのコミュニケーション
Q3の答: 330人

応募数14通、うち正解者数5通でした。

センター
緊急
連絡先

080-1293-8569

この電話はセンター業務時間外に回答します。連絡は、緊急なことかどうかを考えてから電話をしてください。

ゆずりは
yuzuriha

第
121
号

編集・発行 令和3年10月20日

公益社団法人 柏市シルバー人材センター

〒277-0004 千葉県柏市柏下66-1

柏市保健勤労会館2階

TEL 04-7166-6681 FAX 04-7163-4150

URL <http://kashiwa-sjc.or.jp>

メール kashiwa@sjc.ne.jp



目次

- 2P 各専門部会、安全委員会のコメント①
- 3P 各専門部会、安全委員会のコメント② / 防災意識の向上
- 4P シルバーの顔 / 地区別就業相談会
- 5P 施設クリーンスタッフ講習会 / ジョブコラム
- 6P 安全だより / 事故防止
- 7P 最低賃金改正に係るお知らせ / 福祉・家事援助サービス情報
- 8P 事務局からのお知らせ / 編集後記



光ヶ丘地区(酒井根班) 石田 ひろみ 会員
P4をご覧ください!!

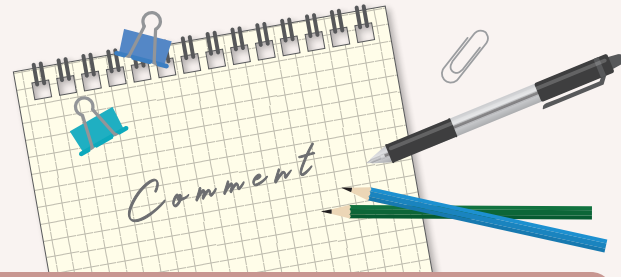
令和
3年度

柏市シルバー人材センター
安全標語 最優秀作品

安全は 急ぐな 焦るな 気を抜くな 皆で守って 事故防止

●各専門部会及び安全委員会のコメント

令和3年度は、第4次基本計画がスタートします。新しい役員で構成する各専門部会及び安全委員会から、活動内容や取り組みについて、コメントを掲載します。



Comment

企画調整部会 部会長 日野 会長



長期のコロナ禍にあって、会員拡大の取り組みは、入会説明会と会員研修で人数制限と開催回数増にて実施しています。

一方、イベントなどの行事は自粛中です。

保育園や学校校務の支援、病院のワクチン接種支援など新規事業の基盤づくりに取り組む他、コロナ対策と業務効率化を図るためにIT化の推進にも取り組んでいきます。

Comment

総務部会 部会長 杉岡 理事



現在まで2年に亘るコロナ禍の影響で、皆様方との活動、コミュニケーションが大幅に制限されている状況が続いています。ただ、今期は第4次中長期基本計画の初年度であり、事業計画である総会出席率の向上はもとより、地域班機能の活性化を進めるに当たっても、これからは新しい形でのあり方を模索しながら、皆様方相互の関係を深めていく必要があると考えています。

ご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

Comment

就業開拓部会 部会長 高橋 副会長



就業開拓部会は、ジョブコーディネーター8名と理事3名、会員2名で構成されています。

名称の通り、会員皆さんの就業先開拓が大きな目的の部会です。昨年度は、コロナの影響で請負・委任契約額の減少を柏市関連の委託事業受注で何とか前年度契約額に近い数値に食い止めることができました。

今年度も引き続き、更なる受注拡大を目指して頑張ります。

Comment

広報部会 部会長 町田 理事



広報紙「ゆずりは」と「柏シルバーだより」の編集、発行を主として、センターの活動状況、現状をわかり易く周知する事を目標としています。

又、会員拡大の為のホームページの内容の充実、ポスターの制作、広報DVDの更新などにも取り組んでいます。

会員の皆様に愛される「ゆずりは」を目指します。ご意見、ご要望をお待ちしております。

Comment

女性部会 部会長 飯島 理事



世界でも稀に見る日本の高齢化は遠くの話では無くなりました。この時代のニーズに応えるべく福祉・家事援助事業の推進は、もはや不可欠なものです。

女性会員の拡大を図り、入会された女性会員が安心して就業することが出来るようなバックアップ体制を作れるよう努力して参ります。

Comment

安全委員会 委員長 薬師寺 理事



ガツーン!ゴン!一瞬わが身に起きたことが理解できません。硬質のボールが右手人指し指を直撃した瞬間でした。骨折全治2カ月。防護ネットの弛みが原因でした。職場の危険はどこに潜んでいるか分かりません。「安全パトロール」の再開や、基本動作に立ち返る「安全研修」などを通じて、会員の安全を守る活動を目指します。

●災害に関わる情報入手について考える



最近、全世界で異常気象の影響と思われる災害が発生しています。日本でも大雨に伴う土砂崩れの被害、河川の氾濫や堤防決壊に伴う洪水被害が発生しています。

千葉県でも過去には台風の大規模な強風・竜巻被害や洪水被害が発生しています。幸い柏市では大雨による大規模な被害は発生していませんが、地震や強風・竜巻が発生する可能性があります。

最近では、何時、何処で災害が発生してもおかしくないとされています。災害に関わる情報入手について、整理したいと思います。

情報の提供先としては、市町村ホームページ、テレビ・ラジオ・スマホ等の情報機器、専門機関のホームページがあります。情報提供先別に以下に整理します。

(1)市町村ホームページ

ハザードマップ、避難所開設情報及び災害発生危険箇所情報等を入手することができます。ハザードマップは地区毎に災害種別(洪水・土砂崩れ等)毎に危険度別に情報提供されています。ハザードマップは近隣センター等でも入手することができます。東京都防災ホームページでは家族マイタイムラインを提供しており、災害種別毎に作成して家族で共有することができます。

(2)テレビ・ラジオ・スマホ等の情報機器

テレビ・ラジオ、スマホ等の日常生活で使用する情報機器を活用することも大切です。災害情報をリアルタイムに入手することができ、危険の種類等や自分の地域にどのような危険が迫っている、危険が発生しているかを知ることができます。また、スマホ等でのLINEやSMS等からの情報については信頼できる情報であることを確認して使用することが大切です。

(3)専門機関のホームページ

気象庁のキキクル(危険度分布を提供するサイト)は降った雨量が引き起こす災害の危険度分布の予測を確認できます。危険度分布は危険度に応じて色分けされて表示されています。国土交通省のホームページで主要河川の洪水に関する水位情報やリアルタイムで映像等も提供されています。

最後に提供された情報は自分自身が活用できるように整理することが大切であり、災害発生に備えるために有効活用して下さい。また、災害に関わる情報入手以外にも災害に対する様々な対応が必要となります。

例として、警戒レベル、緊急避難情報や河川氾濫警戒情報等により、どの警戒情報レベルが発表された場合に避難準備開始→避難開始等の行動タイミングである行動スイッチを決定して置くことも大切です。

(寄稿 広報部会 鈴木副部会長)

シルバーの顔

●シルバーでの仕事

最初に職場にお邪魔したときは、丁度昼休みの時間でした。男性会員を含む4名のグループ就業。その内容は「除草作業」。この暑さの中、それぞれ除草用の用具を持ち会社の広い庭の除草作業です。石田さんはこの作業班の班長さん。男性の会員の話では、とても明るく前向き、そして仕事についてはどんどん班員の方をリードしている様子でした。雰囲気ですぐわかりましたが、持ち前の明るさとリーダーシップを発揮して、グループの皆さんとの仲間作りにご努力されており、夏の猛暑の中でも職場の仲間全員の日に焼けた明るい笑顔が印象的でした。



光ヶ丘地区
(酒井根班)
石田ひろみ会員

●以前の仕事と現在

学校を卒業後は保険会社を長年勤務、その後もいろいろな仕事をされてきたようですが、東京生まれの東京育ち。いまでもシルバーでの草刈り作業だけでなく樹木の「剪定」にも興味を持っています。シルバーでの仕事では「事故」と「怪我」には十分注意を払っています。仕事の性格からお客様の大切な樹木を扱うので「物損事故」には特別気を使っているそうです。

●趣味とご家庭

3人のお子様もそれぞれお近くにお住まいで7人のお孫さんもかわいい盛りようです。趣味も多才で写真撮影にも興味があり、ビックリしたのはなんと大型オートバイの免許も持ち、以前はご主人とよくツーリングをやっていたとのこと。釣りも大好きで房総の方にも足を伸ばすとか。さすがパワーウーマンの石田さんでした。



●地区別就業相談会

令和3年度の事業計画に基づき、地区別就業相談会を開催しました。9月14日(火)から24日(金)の延6日間(12会場)、各地区の近隣センター等で開催しました。

9月1日付、未就業会員(令和3年8月末総会員数1,746名中、4月から7月の間、一度も就業実績のない会員)361名にお知らせしましたところ、42名の会員(男性35名、女性7名)から参加希望があり相談会に参加されたうち、18名の会員に新たな就業先を紹介することができました。

未就業相談は、センター事務局でも毎月、最終水曜日に行っています。就業に関する相談がありましたら、担当のジョブコーディネーターが対応しますので、お気軽にご相談ください。

●「施設クリーンスタッフ講習会」実施

千葉県シルバー人材センター連合会主催の「施設クリーンスタッフ講習会」が令和3年8月27日(金)柏市シルバー人材センター大会議室にて開催されました。

当日の受講者は7名(男性6名、女性1名)。講習の中身は「座学」と「清掃実習」に別れ参加者にとってわかりやすく意義のある講習会になりました。講師は、株式会社長谷工コミュニティの職員が4名。

開講式のあと、「清掃の手引き」を教材として清掃全般の講義があり、特に顧客先の中に入っている清掃につ



いての注意点などを受講。その後それぞれの班に分かれての「実技実習」が行なわれました。洗剤の種類と特徴、トイレ・洗面台の清掃、ガラス拭き、ホーキやモップの使い方、その他多岐に亘る内容でした。特にその専門的技術の多さに感心するとともに講師の熱心なお話しと実際にその場で体験してみて納得できる講習会でした。そして講師の持っている専門的清掃テクニックについては受講生全員が感心していました。

今回の講習で得た技能は必ず実務に役立つと思われます。また、時にはユーモアも入れた話し方に楽しさも加わったようでした。



ジョブ コラム

JOB column

【コロナ禍でのひとりごと】

今や災害とまで言われる新型コロナウイルス感染。未知のウイルスとの戦いは2年が過ぎ、感染力の強いデルタ株の登場によって、若い世代を中心に猛威を振るっています。「終息」、「収束」の二文字も話題の主演から外れ、遙か遠いところに忘れ去られている気がします。

コロナ禍は生活スタイルを大きく変え、仕事では在宅勤務、テレワーク、時差出勤、Web会議、リモート授業。日常生活でもテイクアウトやU...E...等の出前サービス等々、流行語大賞クラスの言葉が溢れています。もちろん、社会経済全体には今も計り知れない負の影響の拡大が続く中、こういった変化には賛否もありますが、プラスの効果に着目した方がいいのかも知れません。

さて、ここから本題です。この2年間に私に起こったことを思いつくま3つほど紹介させていただくこととします。私にとっては高齢者の仲間入りした記念すべき時期でもありますので、備忘録も兼ねてということで。

1つめは前職場を令和2年3月31日、64歳で退職する予定でしたが、その2日前に急遽仕事の継続の話をいただいたことで、退職が1年間延びたこと。週3日の勤務でしたので、お役に立てたどうかは定かではありませんが、人生色々、まさに青天の霹靂とはこのようなことでしょうか。

2つめは、家庭菜園での野菜づくりのスキルと収穫のアップです。自宅近くの貸し農園はコロナウイルスなど無いも等しい環境で、70歳代の毎日が日曜日のような先輩たちが野良仕事を楽しんでいます。私も休みが増えたことで、皆さんと農耕接触しながら種撒きから追肥、収穫までタイミングよく、しかも楽しく作業ができるようになりました。出来は二の次として、食べきれない野菜たちは、ほぼ押し付け状態でご近所などにお裾分けしています。

そして3つめは、老化との新たな付き合いです。定期健康診断で、いくつか気になる所見が指摘されるようになってきました。いずれも「経過観察」程度ですが、いつまでも元気であるにこしたことはありません。老化とともに、改めて自分に厳しく健康との付き合い方を考える年齢になったと思っています。

すみません。もう一つ最も大切なことを忘れていました。最後4つめはシルバー人材センターでの新たなスタートです。ご縁をいただき、本年4月よりジョブコーディネーターとしてシルバー世代の元気をサポートするお手伝いをさせていただいております。日々、職場の皆さんにご指導いただきながら5か月が過ぎましたが、まだまだ勉強することがたくさんあります。柏市の高齢者は元気な方がたくさんいらっしゃいます。これからも頑張りますのでどうぞよろしくお願い致します。

【ジョブコーディネーター 下 隆明】



令和2年度は27件の事故(傷害事故17件、賠償事故10件)が発生しました。詳細は、ゆずりはに同封した「令和2年度事故発生状況一覧」をご覧ください。

今年度は既に16件の事故(令和3年9月30日現在)が発生しています。

安全委員会からの一言

新型コロナウイルスが柏市も増加傾向にあり、発注者から接種の確認を求められる場合もあります。これからワクチンを接種する方は、接種後に副反応が生じることがありますので、無理せずに体調には十分ご注意ください。

賠償事故

- 洗面台を清掃中、スポンジで鏡に傷をつけた(40千円)。
- 近隣センターの電話機を引っ張って落とし破損させた(22千円)。
- 墓地の清掃作業中、段差に躓き、灯籠に手をかけて倒し破損させた(250千円)。
- 刈払機を使用し、石を飛散させ、車のリアガラスを破損させた(80千円)。
- 機材を搬出した際、ガラスドアにぶつけて破損させた(61千円)。

傷害事故

- 店内をモップ拭きで清掃中、レジ台の角に手の親指をぶつけた(打撲)。
- 清掃用具を出した後、ドアに手首を挟んだ(骨折)。
- 除草作業中、虫に刺された(炎症)。
- 剪定作業中、木の枝が目に入り充血した(刺し傷)。
- 降雨の中、自転車で就業先へ向かう途中、滑って転倒し鼻を骨折した(骨折)。
- 自転車で横断歩道を横断中、対向車に気を取られ、駐車ポールにぶつかり転倒した(打撲)。
- 近隣センターの出入口で滑って転倒。頭を打ち緊急搬送された(打撲)。

安全委員会は、事故の再発防止を図るため、令和2年度から事故を起こした会員を対象に、危険予知訓練(以下「KYT」)の安全研修を実施しています。

KYTは、作業や職場にひそむ危険性や有害性等の危険要因を発見し、解決する能力を高める研修です。さらに、転倒事故が多いことから、令和4年の2月には柏警察と連携を図り、交通安全の講話を実

施予定しています。開催時期が近づきましたら、皆様へご案内いたします。

事故の削減を図るには、会員の皆様の一人ひとりの注意が不可欠です。まずは、健康に就業が出来るよう、ご自身の体調管理のため健康診断の受診をお願いします。また、健康診断書(写)を事務局にご提出くださいますようお願いいたします。

●事故は防ぐことができる!

事故は、必ず事故要因(事故を起こす可能性)が先行します。例えば、転倒事故が起こる前には、床面に水がこぼれていた、履物が悪かったなどの要因があったはず。また、不安全な状態や不安全な行動を回避することで事故は防げるはず。

●事故要因を甘くみない

「このくらい」「もう少しだから」「今まで何事もなかったから」は事故を招くことにつながります。

事故防止のため、何卒ご協力よろしく
お願い致します



●千葉県最低賃金改正に係るお知らせ

千葉県の最低賃金は、10月1日から、28円引き上がり、時間額953円となりました。

改正に伴い、千葉県シルバー人材センター連合会との雇用契約で派遣就業する会員は、時間額953円が適用されます(現在の時間額が953円未満の契約が該当)。

なお、10月1日付で請負契約あるいは委任契約の配分金の変更はありません。

変更がない主な理由は次のとおりです。

- ①請負契約あるいは委任契約で就業する会員は、「労働者」(労働法規が適用)ではなく、「個人事業主」であること。
 - ②配分金を最低賃金と同一にする法的根拠はないこと。
- 請負契約あるいは委任契約の受注については、できる限り、単価の見直し交渉を行います。過去において、

見直しを依頼した際「契約の終了」や「就業時間や日数の削減」等となったケースがあり、慎重な対応を図ってまいります。特に見直しの交渉が発端となり、「契約の終了」となるケースは、センター事業の主旨(高齢者の就業機会の確保)に沿わないとの考えです。

何卒、皆様には、諸事情(配分金を見直したいが契約の終了は避けたい)をご理解いただき、ご了承をお願いいたします。

過去の経緯

平成29年、該当受注230件中、4件が契約終了、平成30年249件中、16件が契約終了または不承認、令和元年は消費税アップと重なり交渉を行わず。令和2年は、全件見合わせ、ジョブコーディネーターが個別に交渉を実施。

福祉・家事援助サービス情報 4

センターは、福祉・家事援助サービス就業会員の拡大と事業の認知度アップを目指しています。就業状況を「ゆずりは」第118号からシリーズで情報提供しています。福祉・家事援助の仕事始める皆さんに参考にしていただければ幸いです。今回で8名の方に体験をお聞きしましたが、皆さん明るく活潑、こちらが元気を頂きました。ご協力ありがとうございます。

- 内 仕事の内容
- 苦 苦労したこと
- 始 仕事を始めるのに不安だったこと
- 楽 楽しいと思うこと
- 慣 慣れるのに要した期間
- 続 就業期間、継続するためのポイント

体験7

- 内 ①1人暮らしの80代男性のお宅で、週1回3時間就業。洗濯・清掃・昼食づくり等、家事全般を行い7年目になりました。
- ②一人暮らしの80代女性のお宅で、月2回2時間就業。庭清掃(落ち葉掃きや草むしり等)、お話し相手しながら、6年半が経過しました。
- 始 個人のお宅(特に一人暮らしの男性のお宅)では、1対1の就業になるため、慣れるまでは緊張しました。
- 苦 清掃時、家の中に貴重品(現金や貴金属)が置いてあった場合等、取り扱いには神経を使います。
- 楽 「ありがとう」と声をかけられた時は、嬉しいです。
- 慣 男性の場合は1年ぐらいかかったように思いますが、女性の場合は会話が弾む方だった事もあり就業初日から打ち解けました。
- 続 お客様の気持ちに沿った対応を心がけています。

体験8

- 内 80歳前後のご夫婦宅を週1回、9時半から約3時間お伺いしております。室内掃除・買い物・ゴミ出し準備等で、買い物に行きますと4時間になることもあります。
- 始 ご夫婦と年齢が近く不安は感じませんでした。
- 苦 依頼主の方は以前にシルバーを利用されている方で、特にありません。片付けの際は相談しながら、その後困らないように気を付けています。
- 楽 感謝の言葉をかけて下さり、色々気を遣って頂くことです。ご夫婦との会話も楽しいです。
- 慣 家事全般は毎日しておりますので、特に期間は必要ありませんでした。
- 続 3年程経ちました。ご依頼主に対しては当日の要望を伺うことでお互い良い関係を保っています。また自分に対しては体調管理に気を付けて笑顔で訪問できるように心掛けています。週1回の訪問が今の自分には合っているように思えます。